

あいちトリエンナーレ2016並行企画事業

# 人類と人形の旅

human with puppet

愛知人形劇センターは、1989年から全国で唯一の民間による人形劇場「ひまわりホール」を、損保ジャパン日本興亜と協働で運営してきました。これまでの間、海外劇団も含めた優れた人形劇の上演活動、人形劇人の人材育成事業等を継続して取り組み、様々な賞や多くの人材を輩出してきました。また、障がい者のための人形劇や東日本大震災支援の巡回活動、環境・防災問題への人形劇界からのアプローチにも取り組んできました。

これらの歴史的成果を踏まえ、今回「人類と人形の旅」human with puppetを開催いたします。

ひまわりホールは、あいちトリエンナーレ2016のメイン会場である、愛知芸術文化センターと長者町会場の中間点にあり、どちらの会場からも徒歩で移動できる利点があります。

トリエンナーレで海外・国内からご来場の皆様に、私たちが掲げる『人類と人形の旅』のコンセプトに沿って、今日の我が国で最高水準の人形劇を、また人形劇の新しい実験をご覧くださいと考えています。

多くの皆様のご来場を、スタッフ一同、心よりお待ちしております。

『人類と人形の旅』human with puppet  
プロデューサー 中康彦

# Pick Up!

あいちトリエンナーレ2016並行企画事業  
『人類と人形の旅』human with puppet 記念製作  
『文楽人形オペラ

おさん 伊八～睦月連理玉椿～』

幕開けを飾る特別ステージ!



本作品の原作「睦月連

理玉椿～おさん伊八」は、宗春の藩主時代に、闇之森八幡社

境内(名古屋市中区正木2丁目)で実際に起きた心中事件を元に、宮古路豊後掾(みやこじぶんごのじょう)が製作。現在の錦三丁目の「円輪寺」の境内で豊後節として初演されると「名古屋心中」として大ヒットし、今日の新内や常磐津、清元の源流となった邦楽の記念碑的な作品です。その浄瑠璃を300年の時を経て、平成の世に、人形と人間との共演で、新たに作曲したオペラ作品として仕立てようという試みがこの作品です。

享保の時代は心中が大流行、お上は心中禁止令を出すなど取り締まりを強化、心中を扱った浄瑠璃の上演も禁じられていました。お上の風俗、文化への規制は封建時代においては当然のことですが、心中を美化するわけではないものの、そこに向かう若者の純粋な愛の思いは美しく、情熱は強く死の選択は阻むことのできない一つの尊厳あるものとも思われます。また、それを作品として昇華させようとする芸術家の表現活動を人道的、倫理的な見地といった理由で、権力サイドが抑圧することはあってはなりません。閉塞感に苛まれ続ける現代、それを表向き打破しようと見せかけの政策を打ち出す権力者、様々なシステムに縛られ身動き取れない不自由な今…、そうした時代認識に立って、この浄瑠璃作品を再構築しました。

そして、人であらざる人形によって人間社会の不条理を描く文楽を、いかに現代性あるものに仕立てるか。人形と人間との共演、パフォーマンスの可能性を探り、新しい表現を見出そうと考えました。太夫の語り、三味線という浄瑠璃の音楽性を、くりもとよこさんの音楽と、バイオリン、チェロ、パーカッション、オペラ歌手二人と女優の演奏と演技で表現します。美術、衣裳、照明も含めたパフォーマンスアート、ご期待ください。

台本・演出：齋藤敏明

# ひまわりホール 子どもアートフェスティバル2016



恒例企画もハズせない!

2014年の開催風景

いいだ人形劇センター 愛知人形劇センター共同製作  
子どものためのハチャメチャシェイクスピア!?

『シェイクスピアが笑う夜～リア王から』



好評に  
応えて早くも  
再演!

脚色・演出：ニノキノコスター(オレンヂスタ)

海外招へい作品

クレドシアター

## CREDO THEATRE

『The Overcoat(外套)』

はるばるブルガリアから!



今回は地元名古屋を中心に全国から実力派アマチュアが集結!「P新人賞」最終選考ファイナリストや「面白い、うまい」と評判の劇団によるハイレベルな作品をお楽しみください。

また、損保ジャパン日本興亜のCSR活動=防災ジャパンドプロジェクト「さんびきのこぶた 危機一髪!」も同日開催。抱腹絶倒はちゃめチャ人形劇と防災体験ワークショップとで、防災について楽しく学べます。

9日は、東京から人形劇団ひばりあむが登場。片手使い人形劇の技と可愛い人形を存分にお楽しみください。そして、10日には東海テレビのベテランアナウンサー、庄野俊哉氏による『「くらしの作文」新聞音読』を開催。中日新聞の「くらしの作文」欄に掲載された記事を、庄野アナと一緒に音読してみましょう。他にも、体を動かして遊ぶダンスワークショップや、初めてでも楽しめる落語、名古屋で活躍するミュージシャンたちのウクレレコンサートなど、2日間まるっと、ファミリーで楽しめるプログラムが満載です!

ひまわりホール子どもアートフェスティバル2016実行委員長 弓達聡子

没後400年を迎えるシェイクスピア。今年3月、四大悲劇の一つ「リア王」をいいだ人形劇センターと愛知人形劇センターがコラボレーションし、子どもも大人も楽しめる「喜劇」として上演いたしました! 合体ロボットのように次々と姿を変える舞台美術やチャンバラ・椅子取りゲーム・ジャグリングなど子どもが楽しめる要素も満載。4時間の原作を1時間にギュッと濃縮し、人形劇・オブジェクトパフォーマンス・演劇・実験音楽など様々なジャンルの垣根を超えたスピード感あふれる舞台です。

特徴は、本音を喋る「人形」と建前を喋る「人間」両方が登場すること。人間の表側も裏側も表現することで「美しいことや綺麗なことだけが新しい世界を楽しむのに必要なことではない」と、人間として大切にしたい矜持を教えてくれる、強く優しい作品に仕上がりました。

初演時には「このあと図書館でリア王を読ませたいと思います」という親子連れの方や「子供たちの未来に想いを馳せる作品でした」と涙ながらに語って下さる方も…。笑えて泣けて時に怖い「リア王」、子どもには分かりやすく楽しい文学体験を、大人にはスタイリッシュな演劇体験をお届けいたします。夏休み最後の思い出作りにも、ぜひご来場ください!

# P新人賞 2016 募集!

人形劇から、もっと可能性を広げて——モノとカラダのパフォーマンスを待っています!!



P新人賞  
2015受賞

人形劇団望ノ社(栃木県)「DEBRIS」



P新人賞2015最終選考作品  
人形劇団サバラン(石川県)  
「忘れっぽい天使」

P新人賞2015最終選考作品  
人形劇団くりきんとん(大阪府)  
「モーリーの見つけもの」

P新人賞は人形劇バベットのP、オブジェ+身体パフォーマンスのP。人形ジャンルの明日を担う斬新な才能を発掘するために開催します。

P新人賞受賞作品には副賞として

賞金:20万円が贈られます。

また、2017年度に、ひまわりホールにて新作の上演をして頂きます。

応募資格は、年齢、経験、国籍、アマ・プロは問いません。私は「新人」と思う人すべての皆さんに応募資格があります。

第一次選考締切は、9月15日(木)。多くの団体個人のご応募をお待ちしています。

主催 | 文化庁、特定非営利活動法人愛知人形劇センター  
制作 | 特定非営利活動法人愛知人形劇センター  
協賛 | 損保ジャパン日本興亜株式会社  
文化庁委託事業「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

お申込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人愛知人形劇センター  
TEL 052-212-7229(平日10:00~18:00)

FAX 052-212-7309

mail@aichi-puppet.net

※お問い合わせは極力メールにてお願いいたします。

応募締切/9月15日(木)

資料請求 / mail@aichi-puppet.net P新人賞2016係